

現在、町の英語指導助手(AET)として子ども達に生きた英語を伝えてくれているキンバリー・八千代・マルヤマさん(愛称:キムさん)。

東川に来て1年2カ月がたち、最初はほとんどしゃべることができなかった日本語が今や誰もが感心するほどできるようになりました。

そこでキムさんの日本語の勉強の方法が私達の英語の勉強の参考になると思い、彼女流の日本語の学びかたについて尋ねてみました。今月と来月の2回にわたってインタビューの様をお届けします。



英語学習指導員 宮地晶子の

## エイゴのマナビカタ

第7回

### 特別インタビュー(前編)

## 外国人の日本語習得法から学ぶ

東川町英語指導助手

東川町英語学習指導員

# キンバリー・マルヤマ×宮地 晶子

**宮地** たった1年間の滞在で、とても日本語が上達したのに驚いています。毎日どんな風に日本語の勉強をしていますか？

**キム** カナダでは大学で日本語を選択していたので、日本に行けばなんとかなると思っていました。でも、実際に日本に来てみたら単語を少し知っているくらいでは意思の疎通はできないとわかりました。これはショックでした。基礎さえなかったのです。このとき相当頑張らないといけない気がしてきました。

日本語の環境に入ってしまうと話せるようになると思っていましたが、これも間違っていました。やはり勉強して練習しなければいけません。それで今では毎日勉強しています。

**宮地** そのそうですね。母国語の場合、母親や周りの大人が何度も話しかけます。子どもが間違った表現を使っても、それに対して何度もさりげなく正しい表現で応じることにより自然と身につけていきます。

**キム** そのですね。でも私の場合は文法が変だとしても聞く人はそのまま流してしまいます。意志の疎通が出来て言いたい事もわかっても言えませんが、文法的にみて正しいかどうかはあまり教えてくれません。誤りを指摘してもらいながら修正する、ということができないのです。

**宮地** 毎日どれくらい勉強していますか？

**キム** 最近は毎朝です。12月に試験を受けることにしたので毎朝5時に起きて最低でも1時間は勉強します。

**宮地** どうやって勉強しますか？

**キム** まず音読して知らない単語をすべて調べてメモします。それから問題を解いていきます。

**宮地** どういう順番でやりますか。まず知らない単語を辞書で調べますか、それとも音読が先ですか？

**キム** まずざっと目を通して音読します。今私が使っているテキストは短編のようなもので、訳がついているので訳を見て理解できればそのまま音読します。わからなければ辞書を引きます。

**宮地** 英語と日本語の両方あるものを読むのですね。漢字の読み方(発音)がわからないこともありますか？

**キム** このテキストにはひらがなも付いていて、フレーズ(表現)毎に区切られているのでそれを音読します。そして穴埋め問題を解きます。同じ文章をやり方を変えて3〜4回繰り返して、2〜3ページやった後に全部通して読みます。最後にはひらがな無しの状態の問題を解いて理解しているかを試します。何度も繰り返すようにできていて、そこがとてもいいですね。

**宮地** 「繰り返し」という所が大事ですね。外国語の習得はとにかく「繰り返す」に尽きます。

**キム** そのですね。繰り返すことと必ず音読をすることです。時々黙って頭の中で読んでしまうことがありますが、音読しなければいけません。声を出すことは本当に効果があります。音読と繰り返しが一番大切です。

**宮地** そのですね。私も生徒には音読するように言い続けています。それ以外にはどんなことをしていますか？

**キム** 時間があればすぐテキストを開きますし、乗り物の中では単語帳を見ます。とにかくやれることはなんでもやります。また、書くことも大切です。

**宮地** 書くことも大切ですね。(以降次号に続きます)